

議長（志村 忠昭）

これをもって、提案者の提案理由の説明を終わります。

日程第23、議案第23号、平成29年度多度津町水道事業会計予算を議題といたします。
提案者の提案理由の説明を求めます。

上下水道課長、中田君。

上下水道課長（中田 健二）

議案第23号、平成29年度多度津町水道事業会計予算について提案説明を申し上げます。

地方公営企業会計におきましては、水道事業予定損益計算書及び予定貸借対照表は、消費税抜き、その他は、消費税込みとなっております。

それでは、予算書1ページをお開きください。

第2条、業務の予定量と致しまして、(1)月平均給水栓数は、1万794栓で、前年度に対しまして138栓増となる予定でございます。

(2)年間総配水量は328万5000 m^3 で、前年度に対しまして2万6000 m^3 減となる予定でございます。

年間総配水量減の主な要因と致しまして、大口需要家の使用水量の減少とともに、一般家庭での節水意識の定着による使用水量の減少が予想されるためでございます。

それに伴い、(3)1日平均配水量は、9000 m^3 で、前年度に対しまして、71 m^3 減となる予定でございます。

(4)主要な建設改良事業の配水設備工事費と致しまして、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事、消火栓新設及び移設工事等で、3億1,609万9,000円を計上しております。

次に、第3条、収益的収入及び支出でございます。

収入の部、第1款、水道事業収益と致しまして7億6,741万2,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして、0.9%、686万2,000円の減額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項、営業収益は6億9,073万6,000円を計上し、前年度に対しまして、550万3,000円の減額となる予定でございます。

これは、主に年間配水量の減少に伴いまして、水道使用料の減収を見込んでいるためでございます。

第2項、営業外収益は7,667万6,000円を計上し、前年度に対しまして、135万9,000円の減額となる予定でございます。

これは、主に固定資産の減価償却に係る財源の収益化を計上する長期前受金戻入が減額となったためでございます。

次に、支出の部でございます。

第1款、水道事業費用と致しまして、7億6,334万6,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして0.8%、574万9,000円の増額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項、営業費用は7億1,971万8,000円を計上し、前年度に対しまし

て、2,546万2,000円の増額となる予定でございます。

これは主に、平瀬浄水場の施設内設備の修繕を予定しているためでございます。

第2項、営業外費用は4,081万円を計上し、前年度に対しまして、1,595万5,000円の減額となる予定でございます。

これは主に、予算に基づき、消費税の計算を行った結果、消費税の納付の必要がなくなったためでございます。

第3項、特別損失は81万8,000円を計上し、前年度に対しまして、375万8,000円の減額となる予定でございます。

これは不用量水器売却損失額の減額によるものでございます。

第4項、予備費は、前年度と同額の200万円を計上しております。

収益的収入及び支出の明細書につきましては、19ページから30ページに記載しております。

次に、第4条、資本的収入及び支出でございます。

収入の部、第1款、資本的収入と致しまして、2億8,370万1,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして10.6%、2,708万2,000円の増額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項、企業債は2億7,700万円を計上し、前年度に対しまして、2,700万円の増額となる予定でございます。

これは、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事等の建設改良費に充てるためのものがございます。

第2項、工事負担金は661万3,000円を計上し、前年度に対しまして、74万8,000円の増額となる予定でございます。

これは、消火栓新設及び移設工事に充てるためのもので、一般会計からの繰入でございます。

第3項、固定資産売却代金は8万8,000円を計上し、前年度に対しまして、66万6,000円の減額となる予定でございます。

これは、不用量水器の売却代金でございます。

次に、支出の部でございます。

第1款、資本的支出と致しまして5億3,541万3,000円を計上しております。

これは、前年度に対しまして、7.5%、3,731万円の増額となる予定でございます。

内訳と致しまして、第1項、建設改良費は、3億2,859万2,000円を計上し、前年度に対しまして、3,540万8,000円の増額となる予定でございます。

これは、配水管新設工事及び老朽配水管更新工事等の工事費、量水器等の固定資産購入費でございます。

第2項、企業債償還金は2億682万1,000円を計上し、前年度に対しまして、190万2,000円の増額となる予定でございます。

以上の資本的収入及び資本的支出の予算計上によりまして、第4条に記載しております

とおり、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額、2億5,171万2,000円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,252万1,000円、当年度損益勘定留保資金1億4,491万7,000円、減債積立金6,190万4,000円、建設改良積立金2,237万円で補てんする予定でございます。

資本的収入及び支出の明細書につきましては、31ページから32ページに記載しております。

次に、2ページをお開きください。

第5条、企業債でございますが、起債の目的は配水設備工事費、限度額2億7,700万円を定めるものでございます。

起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

第6条、一時借入金でございますが、一時的な資金不足を補うために、限度額5,000万円を定めるものでございます。

第7条、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合につきまして、(1)営業費用と営業外費用との間において執行できることを定めるものでございます。

第8条、議会の議決を経なければ流用することのできない経費と致しまして、(1)職員給与費は8,816万1,000円を計上し、前年度に対しまして、445万8,000円の増額となる予定でございます。

また、水道事業管理者の(2)交際費は、前年度と同額の10万円を計上しております。

給与費明細書につきましては、6ページから10ページに記載しております。

第9条、たな卸資産購入限度額と致しまして、580万円を計上し、前年度に対しまして、118万5,000円の減額となる予定でございます。

これは、営業費用の各目の材料費と材料売却原価の合計額に消費税を算入したものでございます。

次に、5ページをお開きください。

平成29年度多度津町水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書につきましては、末尾にありますとおり資金期末残高5億1,150万5,000円の予定でございます。

次に、11ページをお開きください。

平成29年度多度津町水道事業予定損益計算書につきましては、収益的収入及び支出の予算計上によりまして、1. 営業収益は6億3,988万1,000円、2. 営業費用は6億9,113万8,000円ですので、営業損失は5,125万7,000円の予定でございます。

3. 営業外収益は7,403万5,000円、4. 営業外費用は4,080万9,000円ですので、経常損失は1,803万1,000円の予定でございます。

5. 特別損失は81万8,000円、6. 予備費は185万1,000円ですので、当年度純損失は2,070万円の予定でございます。

また、前年度繰越利益剰余金は3億6,876万2,000円ですので、当年度未処分利益剰余金は3億4,806万2,000円の予定でございます。

次に、12ページをお開きください。

平成29年度多度津町水道事業予定貸借対照表につきましては、資産の部、1. 固定資産合計は76億1,645万1,000円、2. 流動資産合計は6億4,452万1,000円ですので、資産合計は82億6,097万2,000円の予定でございます。

次に負債の部、3. 固定負債合計は32億9,475万1,000円、13ページをご覧ください。

4. 流動負債合計は3億4千43万4,000円、5. 繰延収益合計は16億4,327万4,000円ですので、負債合計は52億7,845万9,000円の予定でございます。

資本の部、6. 資本金合計は24億9,030万9,000円の予定でございます。

7. 剰余金の資本剰余金合計は2,069万6,000円、利益剰余金合計は4億7,150万8,000円ですので、剰余金合計は4億9,220万4,000円の予定でございます。

つきましては、資本合計は29億8,251万3,000円、負債・資本合計は82億6,097万2,000円の予定でございます。

以上、誠に簡単でございますが、議案第23号の提案説明とさせていただきます。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。